

2020年度

年題聖句

「あなたがたはキリストの体であり、また、一人一人はその部分です。」

コリントの信徒への手紙一 12:25~27

それで、体に分裂が起こらず、各部分が互いに配慮しあっています。一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。

あなたがたはキリストの体であり、また、一人一人はその部分です。



キリスト

今月の聖書から

「体の復活を信じます」(ヨハネによる福音書 5:24-29)

鶴沼めぐみルーテル教会 梁 熙梅(やん ひめ) 牧師

毎週日曜日の礼拝ごとに、「体の復活を信じます」と告白します。そのとき、皆さんはどんなことをイメージしておられますか。初めてこの言葉を聞く方は、どんなことを考えておられるでしょう。従来の教えの一つとして、死んだ後に、新しい体に変えられて天国に迎え入れられるときのこと、と言われてきました。マルタもそのように告白しています(ヨハネ 11:24)



ピエロ・デラ・フラン
チェスカ「キリストの
復活」

しかし、イエスさまはマルタの言葉に対して、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。生きていてわたしを信じる者はだれも、決して死ぬことはない」(同 11:25)と言われました。

教会では、イースターを祝う前に40日間の四旬節を過ごします。多くの弱さを抱えている私たちのために、十字架の上で苦しみに耐え、尊い命を差し出してくださったイエス・キリストを覚えて、私たちがイエス・キリストのように、他者の弱さや困難な状況を積極的に引き受ける生き方へと変えられることを祈り求めるときです。その祈りをおして、イエス・キリストの復活の命に与かることを待ち望みます。

十字架にかけられ死なれたイエス・キリストは、復活されました。しかし、復活されたイエス・キリストは、肉眼では見えません。けれども、確かに復活して私たちと一緒におられます。その復活のイエス・キリストの姿は、キリストの教会、そしてイエス・キリストの洗礼に与かっている私たちキリスト者をおして現されます。

イエス・キリストがなさったように、虐げられている人の側に立ち続ける、病んでいる人を訪ね、ひとりぼっちの人に寄り添い、貧しい人と分かち合い、故郷を追われて寄留する難民を受け入れる、新型コロナウイルスのために尊い命を失い、今なお不安の中にいる

人のことを覚えて祈る、そして憎く距離をおきたい隣人に対して心を開く・・・私の日常がキリストの日常に変えられてゆくのです。そのとき、実は私が常に避けたいと思っていた隣人に支えられていたことに気づかされるのです。その時が、「死んだ者が神の子の声を聞く時」（同 11:25）であり、復活のイエス・キリストの姿が隣人と私の間に、具体的に現れるときです。

そして、「体の復活を信じます」との告白が生きるときであり、私の内に眠っていた神の似姿がよみがえるときです。「生きていて私を信じる者はだれも、決して死ぬことはない」とおっしゃったイエスさまのお言葉が、私たちの内に受肉するときなのです。そのためにお招きを受けている皆様、イースターおめでとうございます！！

3月29日（日）

四旬節第五主日 北尾一郎牧師による礼拝説教「ラザロ（復活）事件の衝撃」（要約）

（はじめに）

四旬節に私たちが学ぶべき「キリスト信仰の要諦」として、次の5項目が挙げられる。①悪魔とそのわざとを捨てる。②御独り子さえ与えられた神の愛を信じる。③^{まこと}霊と眞実によって神を礼拝する。④心の目でキリストを見る。見えないものを見えるようにしてくださるキリストを信じる。⑤復活による永遠の命を信じる。



イ エ ス

四旬節も第5週に進んだ今、私たちは特に⑤をよく学び、そして主イエスの生涯最後の日曜日「枝の主日」を経て、復活祭に至ることを心に刻みたい。

（内在者なる神）

本日の使徒書・ローマ書 8:11 において、パウロは、神のお働きを見事に表現している。パウロはここで、「父なる神」を「キリストを死者の中から復活させた方」として、キリストの復活を信じるなら、人もまた復活することを明言している。

（ラザロの死と復活）

十字架につけられたキリストの復活に基づく、内在の聖霊による信じる者の復活という出来事がラザロ事件であり、福音記者・ヨハネのみがこれをスクープとして記している。ルカ16章に「金持ちとラザロ」の話があるが、このラザロはベタニアのマルタ、マリアの兄弟ではなく、別人。

福音書の中で、この記事はジャーナリスティックであり、ドキュメンタリー・ドラマの

ような4部構成になっている。（その1）ヨハネ11:1-16 主イエスへの愛と忠誠に溢れたトマス的一幕、（その2）同 11:17-27 今日の主題そのものであるマルタ的一幕、（その3）11:28-45 兄弟ラザロの死を泣き悲しむマリアの一幕、（その4）11:46-12:11 ラザロ復活事件の衝撃・波紋。

（おわりに）

ラザロの復活は、主イエスの復活を指し示す。私たちの内に宿られるキリストは、人生のあらゆる不条理に今日も涙され、全てを見ていてくださる。「神は自ら人と共にいて、涙をことごとくぬぐい取ってくださる」（ヨハネの黙示録21:3-4） アーメン。

「さよならぼくたちのようちえん」——思い出いっぱいの卒園式

去る3月17日(火)に、鶴沼めぐみルーテル幼稚園で卒園式が執り行われました。新型コロナウイルスの感染が心配される中、年長ゆり組28名全員が元気な顔を揃え、堂々とした晴れ姿で園長先生からめでたく卒園証書をいただいていた。

4月から当教会の牧師として、またルーテル幼稚園のチャプレンとしてご指導くださる梁 熙梅師がこの日のため特別に来鶴され、式でのお祈りと祝祷を捧げられました。

神さまの豊かな恵みのもと、日ごろからご両親の愛と先生方の熱心な指導を受けて立派に成長した卒園生28名は、「さよならぼくたちのようちえん」を全員で力を込めて熱唱し思い出いっぱいの鶴沼めぐみルーテル幼稚園を巣立っていきました。

卒園生をはじめ、全園児、保護者の皆様の上に、また鶴沼めぐみルーテル幼稚園の歩みに、神様の祝福と導きがありますように。

(写真) 晴れの卒園式に勢揃いした年長ゆり組の28名

